

40歳以上の人は、毎年次の健康診査で大腸がん検診を受けることができます。

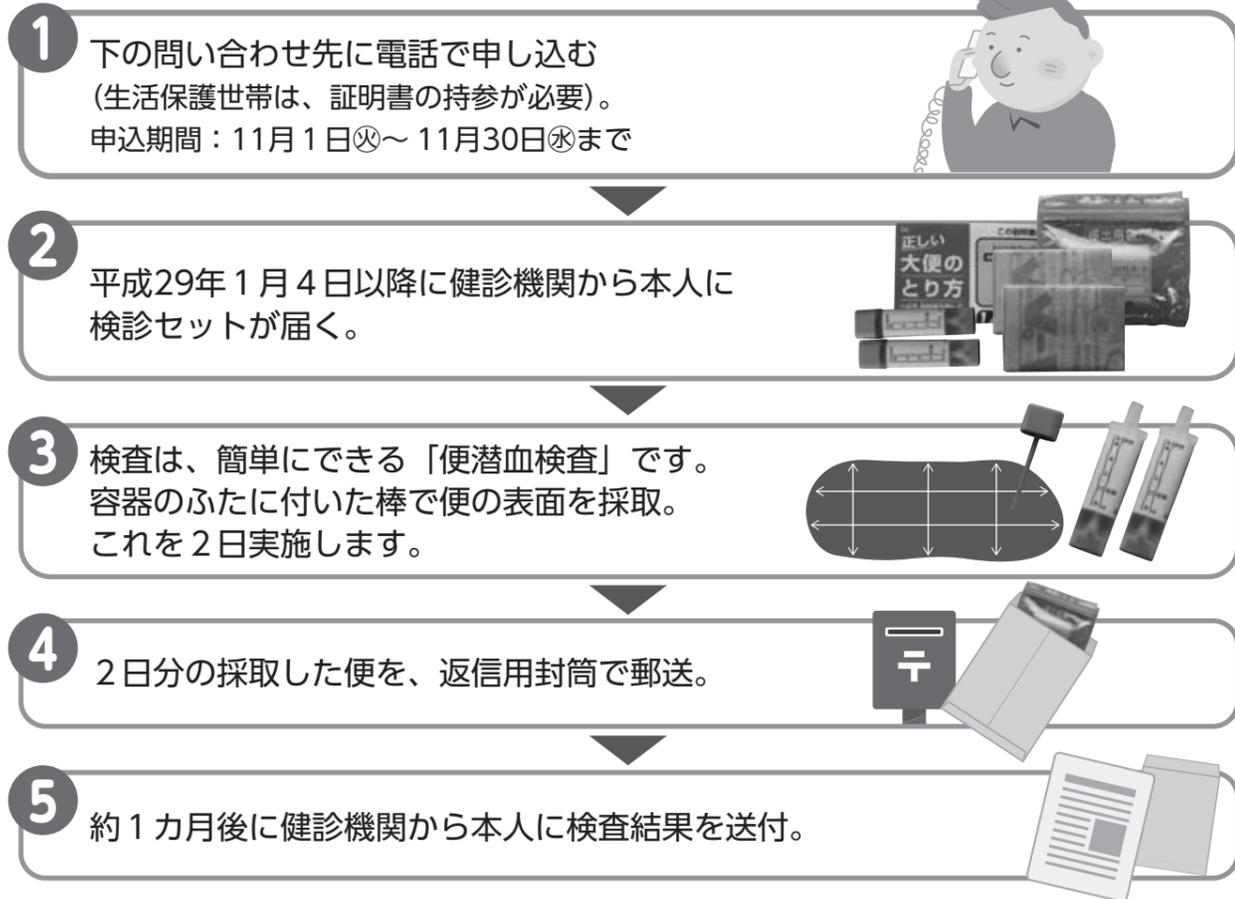
- ①健診バスが地域に出向く「地域健診」
- ②市が指定した健診機関で検査する「施設健診」
- ③市が指定した健診機関で総合的に検査をする「人間ドック」(国民健康保険加入者のみ)

費用の一部を市が助成しています。

①から③までの健診などで、今年度の大腸がん検診を受けていない人でもまだ間に合います。

大腸がん検診が郵送でできるようになりました

◆郵便による検診の流れ



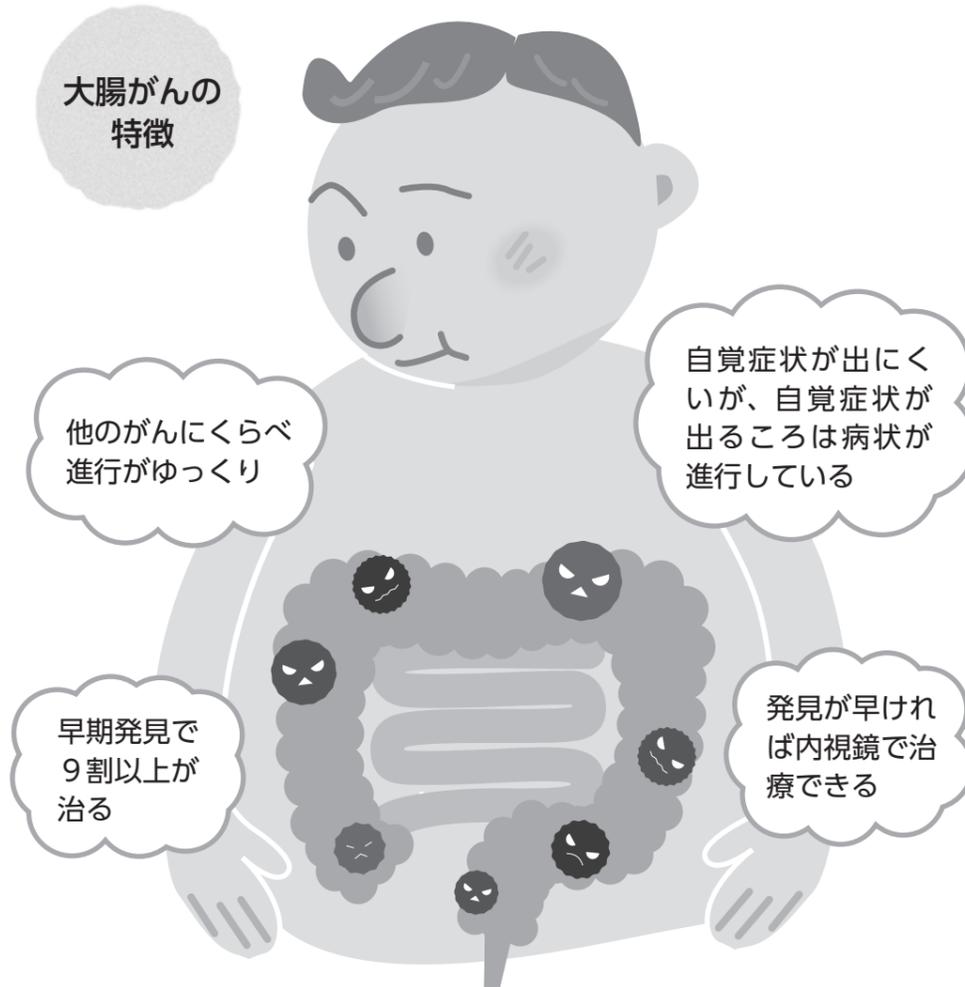
◆検査自己負担金 (検診セットに同封される振込用紙でお支払いください)

- 69歳以下で国保以外の人＝400円
 - 国保、70歳以上、後期高齢者医療の人＝200円
 - 生活保護世帯の人＝無料
- ※生活保護世帯である証明書の提示が必要。
- 今年度40歳(昭和51年4月1日～同52年3月31日生まれ)の人＝無料

【問い合わせ先】天草中央保健福祉センター☎240620 (本渡・新和・五和地区)
天草東保健福祉センター☎663355 (有明・御所浦・栖本・倉岳地区)
天草西保健福祉センター☎793301 (牛深・天草・河浦地区)

大腸がんの検診を！

～早期発見で9割以上治る病気です～



定期的な大腸がん検診が早期発見・早期治療につながります。年1回の検診をおすすめします。

現在、日本では2人に1人が一生のうちになんと診断されると推計されています。なかでも、食の欧米化(脂肪が多く、食物繊維が少ない食事)などが原因で大腸がんになる人が増えています。市の健康診査で発見されるがんのなかでも大腸がんは、特に増加傾向にあります。

大腸がんは自覚症状が出てからの発見では、すでに病状が進行していることが多く、治る確率が下がってしまいます。早い時期に見つけて治療すれば9割以上治る病気です。

早期に発見するためには、大腸がん検診を定期的に受診することが大切です。

◆市健康診査における発見状況

〈発見者数(受診者数)、単位：人〉

年度	大腸がん	肺がん	胃がん	乳がん	子宮頸がん	膀胱・肝臓 前立腺・その他	計
平成24年	13 (10,326)	11	5	16	3	32	80
平成25年	15 (10,768)	16	10	7	3	28	79
平成26年	25 (11,599)	11	9	6	1	23	75